

# 一般質問

## 市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

### 一般質問に27人が登壇

#### 保育所・学童保育所の待機児童解消を



松本 浩一  
議員

今年2月1日時点での保育所の「入所保留児童数」は341人で、昨年より60人も多く、特に0歳児から2歳児が多い状況です。今年4月入所については、第1次申込選考の結果、2月時点で入所未定者数は165人です。また、4月から定員100人の粕壁小学校の学童保育室に入れない児童が55人もいます。

#### ○子育て支援担当部長

平成29年度は様々な取り組みにより、全体で263人の定員の拡大を図りました。平成30年度についても、粕壁・内牧区域、武里区域、豊春区域の幼稚園3園が幼保連携型認定こども園へ移行準備を進め、また、小規模保育事業の実施も、4事業所の開設へ準備を進めています。様々な取

り組みを積み重ね、待機児童ゼロの早期達成を目指します。粕壁放課後児童クラブについては、学校施設の使用対応も考え、施設の面積や安全面を配慮し、保育の必要性の高い4年生までを優先させた受け入れを考えています。

#### ○市長

これまでも関係機関と積極的に協議を重ね、定員拡大を図ってきたところです。引き続き待機児童解消に向けて全力で取り組んでいきます。

#### このほか

○教員の長時間勤務の解消でゆきとどいた教育を

#### 平成30年度施政方針について



鬼丸 裕史  
議員

本定例会の冒頭に、石川市長から平成30年度に向けた施政方針が表明されました。この「市長の平成30年度施政方針」に関連して、市としては今後どのようなところに重点を置いた市政運営をしていくのか。また、次年度に向けた市長ご自身の意気込みを伺い

ます。

#### ○総合政策部長

1点目は、子育てが楽しい、元気で生き生きと笑顔で暮らせるまちとして、子育て・健康長寿プロジェクトを位置付けています。2点目は、誰からも選ばれる魅力的でにぎわいのあるまちとして、まちの拠点整備、経済発展プロジェクトを位置付けています。3点目は、未来へつながる、みんなのできる安心・安全なまちとして、安心・安全・持続可能なまちプロジェクトを位置付けています。以上の3つの重点プロジェクトを中心に、それぞれの施策、事業を総合的かつ計画的にバランスよく推進し、本市の将来像の実現に向けて、取り組んでまいります。

#### ○市長

議員の皆さまと協力し、市政運営に取り組み、さらに私自身が先頭に立ち、職員と一丸となって輝かしい春日部の未来に向けて全身全霊をかける「つながる にぎわう すまいるシティ春日部」の実現に向けて、たゆまぬチャレンジをしてまいります。

#### このほか

○都市交流について

## 市長の平成30年度 施政方針の中から



小久保博史  
議員

施政方針は、市政運営の基本的な考え方や主要な施策などについて、代表的なことを挙げていることは十分理解していますので、確認の意味合いも込め、予算編成を絡めながら、それぞれの基本目標の中から伺います。

インバウンドに絡めて、観光・産業の分野から、「魅力ある観光資源の連続性向上と情報発信」について伺います。特にインバウンドの受け入れ態勢強化及び利便性の向上を図るということですが、訪日外国人観光客の方々に向けた配慮として、市が管理する公衆トイレについて伺います。それぞれの駅周辺や公園内に公衆トイレがありますが、今回は春日部駅周辺のトイレについて伺います。

「特に、インバウンドの受け入れ態勢強化及び利便性の向上を図る」ということですので、全てのトイレの洋式化はできないでしょうか。お聞かせください。

○環境経済部長

公衆トイレなどの洋式化につきましては、春日部駅東口の男子トイレと古利根公園橋のせせらぎトイレにおいて洋式化が済んでいないことから、観光施設の環境整備に関する補助金など有利な財源の確保に向けた調査を進め、必要に応じて対応していきたいと考えています。



古利根公園橋せせらぎトイレ

## 防犯カメラの充実で さらなる安心安全なまちに



鈴木 一利  
議員

昨年末より春日部市では路上での事件が多発してしまいました。今後、春日部警察署のパトロール強化はもちろんのこと、市全体で犯罪抑止・防犯意識の向上が大切になってくるのではないのでしょうか。この犯罪抑止の意味でも効果があると思われるのが防犯カメラです。そこで、以下伺います。

①設置についてどのような考え方で進めていくのか  
②通学路への設置  
③夜間対応型の設置  
④防犯カメラ設置者、団体には犯罪抑止効果としてのステッカー配布  
⑤防犯カメラ設置補助金制度の設立

○市民生活部長

①春日部警察署など関係機関と協議をしながら、真に必要な箇所への計画的な設置を検討していきたいと考えます。

②新たな総合振興計画に、通学路における街頭防犯カメラ設置事業を規定しました。

③有用性が高いと考えられ、老

朽化などで交換する際は夜間対応型の機種に変更することを検討していきたいと考えます。

④侵入盗などの犯罪を防ぐために有効な手段となり得るか、費用対効果等も含め、春日部警察署などと協議しながら調査研究していきたいと考えます。

⑤防犯カメラ設置補助金の創設も含め、犯罪情勢や社会状況などを見極めながら、広い視野で調査研究していきたいと考えます。

このほか

きもなく、市民はもちろん、多くの方に選ばれた病院になっているものと確信しています。今までの市立病院とは別の病院と感じるくらい、大きく変わっているのではないかと思います。そこで、旧市立病院と市立医療センターはどのように変わったのか、また、救急医療の受け入れと、今後の体制について伺います。

○病院事務部長

旧市立病院と市立医療センターの比較は、入院患者数は約35パーセントの増、外来患者数は約15パーセントの増、救急件数が約17パーセントの増となります。

## 市立医療センターについて



進 山崎  
議員

春日部市立医療センターは平成28年7月に開院して1年8カ月がたちましたが、もう少し年数がたっているような気がします。そのくらい名称を含めて、市民の皆さまに浸透しているものと思います。多くの外来患者や入院患者を受け入れていて、ベッドの空

救急件数については、診療科別では内科系が約14パーセントの増、産婦人科が実績で83件、整形外科が約18パーセントの増、脳神経外科が約18パーセントの増、呼吸器外科が約122パーセントの増となっています。救急の関係の医師の確保に全力を尽くしてまいります。

○病院事業管理者

各診療科が一步先を見た診療方針を決め、実践していくようにバックアップします。

このほか

○教育について

### 「子育てするなら 春日部に」一刻も早く 学校給食費の無料化を



今尾 安徳  
議員

学校給食のある日は世帯年  
収による栄養格差がなくなる  
新潟県立大学の村山伸子教授  
の調査結果が昨年夏まとめら  
れました。低所得層の子ども  
は、そうでない子に比べ、成  
長に欠かせないたんぱく質や  
鉄の摂取量が少ないなど、栄  
養面の格差がありました。差  
は主に給食のない週末に生ま  
れ、栄養格差解消は給食頼み  
であることが示されました。  
家庭の経済状況に影響され  
ることなく、全ての子どもた  
ちの健やかな育ちを保障して  
いく食育の観点とともに、春  
日部市の最大の課題である人  
口減少に歯止めをかけて、若  
い子育て世代に選ばれるまち  
とする政策的な判断が必要で  
す。そこで、全国でもこれだ  
け大きな自治体では実施して  
いない給食費完全無料化を先  
駆的に行っていくことが、市  
の人口減少対策に対する本気  
度を全国に知らしめることに

なると考えます。市長の決断  
をお願いしたいのですが、見  
解を伺います。

○市長  
子育て支援は、全ての子育  
て世代を対象とした、さまざ  
まな角度からの支援策が重要  
であると考えています。

今後も春日部市の将来の展  
望を踏まえ、春日部の未来を  
担う子どもたちのために子育  
て環境の充実に取り組んでい  
きます。

このほか  
○市内商工業活性化に住宅リ  
フォーム助成制度の早期実現  
を

### 市有地の売却について



海老原光男  
議員

過去3年間の市有地売り払  
いで議会で議決案件となった  
のは「旧沼端小学校跡地」、  
「豊野環境センターの土地の  
一部」の2件とのことですが、  
今定例会において「春日部市  
商工振興センター解体工事請  
負契約の締結について」の議  
案が上程されました。市、そ

して市民にとっても大変重要  
な中心市街地にある旧商工振  
興センター跡地について次の  
ような報道がありました。

「市はその用地の45パーセン  
ト程度を国に売却し、市内に  
ある労働基準監督署、ハロー  
ワークを春日部労働総合庁舎  
として建設を予定している。」

とのことでした。そこで、旧  
商工振興センター跡地の売り  
払いについて議会で議決の  
要否と売り払いまでの事務の  
流れについてお伺いします。

### ○総務部長

普通財産である市有地を売  
り払う場合、土地に関しては  
価格が2千万円以上であるも  
ののうち、1件5千平方メー

トル以上のものは地方自治法  
第96条第1項第8号に定める  
議決事件に該当するため、市  
議会の議決が必要となります。

今回の案件である旧商工振  
興センターの土地の売り払い  
面積は約1900平方メートル  
となる見込みで、土地の売  
り払いは、部長級で構成する  
春日部市用地取得管理等調整  
委員会において、その適正さ

を審議し、その会議結果の報  
告を受けて市長が決定します。

### このほか

○火災予防について

### 公用車について



栗原 信司  
議員

観光資源が少ない市として  
は、公用車のナンバープレー  
トを活用すべきと思います。  
街の案内人のクレヨンしんち  
やんから「904（くれよ  
ん）」とか、市の郵便番号か  
ら「344」などを利用する  
ことで、走る観光資源となる  
と思います。

また、全ての公用車にドラ  
イブレコーダーを設置して犯  
罪を未然に防ぐ取り組みが有  
効だと思います。さらに、設置  
が推進された際には「走る防  
犯カメラ」や「動く防犯カメ  
ラ」といったステッカーを市  
内の児童生徒たちからデザイ  
ンを募集することで、市民を  
巻き込んだ犯罪抑止に関する  
意識の啓発も進むと思いま  
す。

### ○総務部長

公用車のナンバーを市にゆ  
かりのあるものとしてPRす  
ることは、少ない経費で実現  
可能なものと考えられますの



公用車に設置したドライブレコーダー

で、公用車を買いかえる際に  
検討していきます。ドライブレ  
コーダーは、必要な機能を  
検討した上で、公用車を買  
いかえる際に設置する方向で取  
り組んで行きたいと考えます。  
ステッカーには犯罪抑止効果  
が見込めると考えていますの  
で、ドライブレコーダー設置  
の際に関係機関と協議、調整  
していきたいと考えます。

### このほか

○少子化対策としての幼稚園  
就園奨励費について

○成人式を18歳で

○スマホを活用した市民サー  
ビスについて

おもてなしトイレについて



矢島 章好  
議員

高知県では観光客の満足度の向上につながるため、県民による観光客への「おもてなし」の機運を高める取り組みを行っており、その一つとして、観光客が利用するトイレにおいて、「おもてなし」に取組んでいるトイレを公募し、認定する事業などを実施しています。本市においても国内外を問わず、訪れた方を気持ちよく迎えできる環境を整え、リピーターを増やしていく取組みは大変重要な取組みであると考えます。おもてなし機運を高める取組みの一つとして、「認定トイレ事業」に対する本市の考えを伺います。

○環境経済部長

認定トイレ事業については、主に観光客の方に快適にご利用いただけるトイレを整備する活動の一環として施設や店舗のトイレを各自治体の基準に基づき審査し、認定するも



川の駅のトイレ

のと捉えています。高知県や千葉県では5〜6つの認定要件を設けており、認定されているトイレには自治体や民間を問わず、宿泊施設や観光施設、駐車場、公園、店舗等のトイレがあります。こうしたおもてなしの機運を高める取組みは、本市を訪れた方々がストレスなく快適に観光を満喫できる環境づくりのため有効と捉え、参考にしていきたいと考えています。

このほか

○学校における働き方改革について

○夏の制服問題について

消防行政について



金子 進  
議員

最近の木造建築物は燃えにくい素材を使用していますが、ひとたび火災になってしまうと燃え広がってしまいます。住宅の防火対策として消防法が改正され、住宅用火災警報器の設置が義務化されて10年経過しますが、現在の設置状況及び設置率向上のための広報について伺います。

また、近年日本を訪れる外国人観光客などの増加に伴い、消防職員が外国人と接する機会が多くなっています。そこで消防職員が救急現場において、日本語を話せない外国人とどのようにコミュニケーションを取りながら活動しているか伺います。

○消防長

住宅用火災警報器の設置率の調査につきましては、対象地域に偏りが出ないよう考慮し、無作為に抽出した住宅等に赴きアンケート調査を行っているところです。平成29年

6月1日の時点における設置率は、全国で81・7パーセント、埼玉県は77・8パーセント、本市が75・4パーセントとなっております。市内の各種イベントなどのあらゆる機会を活用しながら幅広く広報していきます。

多言語対応の指さしカードや救急ボイスストラなどを現場の状況に合わせながら活用し、日本語を話せない外国人とのコミュニケーションの確保に努めています。

このほか  
○ごみ焼却施設の運営などについて

健康マイレージ事業について



佐藤 一  
議員

健康マイレージ事業について、以下伺います。

①埼玉県が平成29年度より実施している「コバトン健康マイレージ」事業の概要について。

②春日部市は平成30年度から実施するが、どのようにPRしていくのか。

③健康マイレージに関連して、平成30年度に市が実施する事業として、どのようなものを考えているのか。

○健康保険部長

①ウオーキングを通してポイントをとめることで、楽しく健康づくりを進めていくもので、その歩数に応じてたまったポイント数により県内の特産品や協賛企業の商品が当たる抽選に参加することができます。

②この事業をより多くの市民に知っていただくために、広報かすかべ、市公式ホームページ及び公式ツイッターなどのSNSへの記事掲載のほか、各教室やイベントなど、さまざまな機会でのチラシ配布により事業の周知を積極的に行っていく予定です。

③ウオーキング教室を開催し、指導者のもとで正しい歩き方を理解していただき、また、大型商業施設等とタイアップしたウオーキングイベントなど、楽しくかつ継続的にウオーキングに取り組んでいただくための事業を実施したいと考えています。

このほか

○自治会加入促進について  
○公園の活用について

### 一ノ割駅周辺及び大池地域の 交通利便性の向上について



木村 圭一  
議員

昨年3月5日に一ノ割駅前広場（ロータリー）が完成し、利便性が図られてきました。

そこで以下伺います。①車の利用者が入り口を見落とさないような案内標識等を掲示できないか、②駅前広場へのバスの乗り入れについて、③駅西側から直接駅改札に入れるよう、周辺エリア整備をどのように進めていくのか、④一ノ割エリアから春日部方面に向かう際に最も利用される大池通りとユリノキ通りの結節点における朝晩の渋滞の解消に向けた今後の方向性について

#### ○都市整備部長

①地域住民の方々と協働し、対策に取り組みます。②運行実績を検証しながら利便性の向上につながるよう、しっかりと検討を進めていく考えです。③整備にあたっては多くの地権者と地域住民の方々との合意形成が必要不可欠ですので、整備計画の策定段階から整備

手法やスケジュール、効果の検証等を協働して取り組み、整備に対する共通認識を図りながら進めていく必要があると考えています。

#### ○建設部長

④どのような対策が最も効果的であるかを含めて、引き続き警察と協議を重ねていきたく考えています。

#### このほか

○ネット依存対策について  
○ネット相談受付について  
○ゾーン30導入の進捗について

○公共施設に宅配ロッカーを設置することについて

### 高齢者の一人暮らし 対策について



斉藤 義則  
議員

少子高齢化や核家族化により、全国的に高齢者の一人暮らしは増加傾向にあります。

市内にも高齢者の一人暮らしの方は1万人ほどいると聞いています。そしてこれら高齢者の一人暮らしの方たちの一番の課題は安否の確認だと思えますが、この課題に対して

市ではどのような事業を行っているか伺います。

#### ○福祉部長

主な事業としては4点です。1点目は緊急通報システム設置事業で、自宅で緊急事態が起こった際にワンタッチで受信センターにつながり、緊急車両の手配ができるほか、24時間体制で看護師など専門の資格を持つオペレーターによる健康相談ができる体制をとっています。

2点目は配食サービス事業で、食の自立を支援するため、栄養バランスのとれた食事を自宅に配達するとともに直接手渡しすることにより安否確認を行っています。

3点目は高齢者安心見守り事業で、いきいきクラブ連合会の会員が定期的に電話をかけ、安否確認や健康状況の確認を兼ねた日常の不安感や孤独感の解消を図っています。

4点目は日常生活用具給付事業で、心身機能の低下に伴い、防火等の配慮が必要な方に対して火災報知機、自動消火器、電磁調理器を給付し防火の視点から安全の確保を図っています。

このほか

○害獣対策について

### 市内浸水・冠水対策について



武 幹也  
議員

人口減少には、浸水・冠水のない快適な居住空間エリアをつくるのが長期的効果があると思います。浸水・冠水の解決により住んでみたいまち、住み続けたいまちになると思います。

今回は、内牧地区と豊春地区から道路冠水と家屋浸水が発生する地域を挙げ質問します。特に内牧地区栄町二丁目には地域最大の被害エリアです。内牧用水と排水路の間に低いエリアがあり、大雨や台風時には70センチを超える冠水地域です。道路をボックスカルバートにする地下貯留流下施設や古隅田川に至る排水路改修について、道口蛭田地域と増富地域の春日部ハイデンス周辺の道路冠水の対策について伺います。

#### ○建設部長

用地確保や施設整備に多額の費用がかかることから、貯留施設を設置することは難しいものと考えています。水路改修については、古隅田川の改修の効果を確認した上で、その必要性について判断したいと考えています。道口蛭田地域では、上豊川と古隅田川を整備し、流域の浸水被害の軽減を図っています。増富地域では、1級河川新方川と大貫堀川において一部未整備であることから、本市において対策を実施することが現在難しい状況です。

このほか  
○人間ドックについて  
○高齢者交通安全の為の免許返納について



道口蛭田の冠水地域の水路